平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	現代社会要論(Elements of Modern Society)	授業コード	A032051
担当教員名	鈴木　照夫、鍋田　耕作、高見　大介、吉本　圭一郎、河村　裕次、市川　芳郎、杉浦　嘉雄		
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	教育効果の観点から、受講生を60名に制限します。履修希望者が超過した場合は、第1回目の授業において、選考の参考資料にするためのレポート作成を行います。		
受講心得	・グループワークを中心に行いますので、他のメンバーに迷惑をかけないよう無遅刻・無欠席で受講して下さい。 ・グループワーク時は、ディスカッションや作業などに積極的に参加してください。受け身の姿勢では意味がありません。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	『知へのステップ　第3版―大学生からのスタディ・スキルズ―』 (くろしお出版)学習技術研究会　編著 ※社会参画入門・実習1使用教科書		
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、人間力概論、産学一致の勧めなど		

授業の目的	現代社会が抱える問題について、資料を基に自ら考え、また、グループで議論することにより、「社会問題を理解し、様々な意見に触れ、自分の考えを持つことができるようになる」「なぜ自分がそのような考えを持つようになったのか、理由を説明し、自分の意見として主張できるようになる」ことを目的とします。
授業の概要	現代日本社会の根本問題ともいえる、少子高齢社会における課題について、①「高齢社会について考える」 ②「結婚について考える」 ③「少子化を解消する」の3つのテーマを設定し、6名程度のチームによるグループワークを通じて、課題解決の提案を行います。社会的な問題に対して、提供された情報・資料および追加収集した情報を分析し、それを基に課題を発見し、その解決策を考え、論理的なストーリーを持った内容を明快にプレゼンテーションできるような能力の向上を図ります。また、チーム内で建設的な話し合いをし、協力しながら成果物を作成する能力も養います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション ○授業の目的・内容・進め方・成績評価等について説明 ○受講生決定の参考資料としてのレポート作成	
第 2 週 ： ライフデザイン講座(1) ○少子化の現状・課題(県こども子育て支援課職員) ○講師による講義 「地域の子育て支援はいま」 講師　大原　聖子　氏(社会福祉法人大野福祉会　おおのルンビニ保育園副園長 おおの子育て支援センター子育てひろばルンるん施設長)	講演内容の整理
第 3 週 ： ライフデザイン講座(2) ○少子化の現状・課題(県こども子育て支援課職員) ○講師による講義 「イクメンになろう」 講師　大西　正久　氏(おおいたパパくらぶ世話人)	講演内容の整理
第 4 週 ： ライフデザイン講座(3) ○少子化の現状・課題(県こども子育て支援課職員) ○講師による講義 「なぜライフデザインが必要か～夢や希望を持って生きていこう～」 講師　西村　慶治　氏(社会保険労務士・キャリアカウンセラー)	講演内容の整理
第 5 週 ： ライフデザイン講座(4) ○自分自身のライフデザインを考える ・前3回の講義内容を踏まえて、自分自身のライフデザインについてレポート作成	
第 6 週 ： 高齢社会について考える(1) ○高齢社会の問題点・課題について自由に考える(グループワーク) ○高齢社会の背景・問題点について情報提供(教員)	情報分析

第 7 週 ： 高齢社会について考える(2) 〇与えられた資料を読解・分析し、高齢社会における課題を探る ・資料読解(個人ワーク) ・専門家グループ会議 ・グループでのまとめ作業	情報整理及び追加情報の収集
第 8 週 ： 高齢社会について考える(3) 〇プレゼンテーション準備「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて描く」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・模造紙に発表資料を作成	アイディアの整理
第 9 週 ： 高齢社会について考える(4) 〇プレゼンテーション準備「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて描く」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・模造紙に発表資料を作成	発表資料の作成および発表練習
第10週： 高齢社会について考える(5) 〇プレゼンテーション「2030年における望ましい社会像を根拠に基づいて提案する」	
第11週： 少子化を解消する(1) 〇少子化の原因について自由に考える(グループワーク) 〇少子化の背景・問題点について情報提供(教員)	情報分析
第12週： 少子化を解消する(2) 〇与えられた資料を読解・分析し、少子化の原因を探る ・資料読解(個人ワーク) ・専門家グループ会議 ・グループでのまとめ作業	情報整理及び追加情報の収集
第13週： 少子化を解消する(3) 〇少子化解消のため目指すべき社会のビジョンを構想し、その方向性を実現するためのアイディアを出す(グループワーク)	情報整理及び追加情報の収集
第14週： 少子化を解消する(4) 〇プレゼンテーション準備「少子化を解消するための具体的な方策を構想し、まとめる」(グループワーク) ・前3回の内容を踏まえてプレゼンテーションの骨子を固める ・パワーポイント資料作成	発表資料の作成および発表練習
第15週： 少子化を解消する(5) 〇プレゼンテーション「少子化を解消するための方策を提案する」	
第16週： 期末試験 〇与えられた資料を読解・分析し、時間内に課題解決策についての小論文を作成する。	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①自ら調べ学修ができる。 ②自分の役割を理解し、それに沿った行動ができる。
【知識・理解】	テーマについて必要な知識を獲得できており、問題点の分析に活用することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	①現代社会における問題点について、適切な手段を用いて表現することができる。 ②現代社会における問題点について、自分の意見を述べることができる。
【思考・判断・創造】	リテラシーのプロセス(情報分析→課題発見→構想→表現)を獲得し、そのスキルを活用できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**10点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**10点**			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**10点**	**20点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**30点**	**10点**	**10点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	各テーマの成果物（ポスター、パワーポイント資料）により、現代社会における問題点について、論理的に表現できているか、リテラシーのプロセスが活用できているかを評価します。
発表・その他（無形成果）	①各テーマの発表（プレゼンテーション）により、現代社会における問題点及びリテラシーのプロセスについて、わかりやすく表現できているかを評価します。 ②グループワークにおける行動により、調べ学修ができているか、自分の役割を理解し、それに沿った行動ができているか、自分の意見を述べているかを評価します。